

拒絶理由通知書



特許出願の番号 特願2000-291615
起案日 平成19年 5月15日
特許庁審査官 加内 慎也 9745 5V00
特許出願人代理人 伊東 忠彦 様
適用条文 第29条第2項、第36条

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から60日以内に意見書を提出して下さい。

理 由

提出期限

7/23 (月)

理由1

この出願は、明細書及び図面の記載が下記の点で、特許法第36条第4項及び第6項に規定する要件を満たしていない。

理由2

この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前日本国内又は外国において頒布された下記の刊行物に記載された発明又は電気通信回線を通じて公衆に利用可能となった発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。

記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

理由1について

明細書の記載が不明である(例えば、

(1)請求項1には「地肌レベルの検出データに前記第1の画像処理手段と同じ画像処理を施す」との記載があるが、該記載のみからでは、ひとつの数値と認められる該検出データに(MTF補正などといった複数のデータを必要とする)画像処理をどのようにして施すのか等不明である。

(2)請求項1には「画像処理後の検出データに基づいて閾値を…」との記載があるが、該記載のみからでは該画像処理後の検出データと該閾値との対応関係等不明である。

(3)請求項7には「検出データを前記画像データ中に付加する」との記載があるが、該記載のみからでは(画像データ値に検出データを加算等するものも含まれ)

検出データを画像データにどのように付加するのか等不明であると共に発明の詳細な説明の記載との対応も不明である。

(4)請求項23には「前記地肌除去工程」との記載があるが、同請求項及び引用する各請求項には地肌除去工程についての記載がなく不明である。

(5)第5図の記載(1ライン周期、空転期間の示す範囲)は誤記と認められる。等)。

理由2について

請求項1-6、11-18、23

引用文献1

備考：

引用文献1には、画像処理装置において地肌除去を行うことなく、地肌データを含む画像データに対し同じ画像処理を施す技術が記載されている。

引用文献等一覧

1. 特開平6-152933号公報

この拒絶理由通知書中で指摘した請求項以外の請求項8-10、20-22に係る発明については、現時点では、拒絶の理由を発見しない。拒絶の理由が新たに発見された場合には拒絶の理由が通知される。

先行技術文献調査結果の記録

・調査した技術分野 IPC第7版

H04N1/40-409 H04N1/46 H04N1/60

・先行技術文献

特開2000-101839号公報

この先行技術文献調査結果の記録は、拒絶理由を構成するものではない。